

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 知念 希和 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	原爆被爆者対策事業
目的	(1) 対象 原爆被爆者及びその二世 (2) 意図 必要な療養や健康の保持ができるようにする
事業概要	○助成事業・・・原爆被爆者の健康を保持するため、疾病にかかっている者等に対して、手当を支給する。 ○健康診断事業・・・原爆被爆者等の健康を保持するため、被爆者及び二世に対して、健康診断を実施する。 ○死没者慰霊事業・・・死没者の尊い犠牲を銘記するため、慰霊式典等を行う者に対して、経費の一部を補助する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	原爆被爆者健診受診率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		64.60	64.60	64.60	64.60	
式・定義	前期の受診者数/受診対象者数（前年度末手帳所持者数－施設入所者数：7月末）	実績値	56.70	57.50	55.20	54.10		%	
		達成率		89.00	85.40	83.80		%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	597,146	586,323
うち一般財源(千円)	13,420	29,602

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○被爆者健康手帳所持者数（平成26年度末）：1,225人 うち、原爆手当受給者数：1,143人	○健康診断実施件数（平成26年度）：1,301件 健康診断を受けない理由（未受診者へのアンケートより） ・日頃からかかりつけの医院へ通っている ・病院に入院中（施設に入所中） ・寝たきりで外出が困難
○介護保険等利用被爆者助成件数（平成26年度）：4,066件	
○死没者慰霊式典（平成26年度）：10月16日開催	

6. 成果があったこと（改善されたこと）

介護保険サービスを利用した被爆者への助成について、前年度の件数より非常に伸びている。  
(3,661件→4,066件)

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」	・被爆者への健康診断等の情報の伝達や、医療機関への受診が難しくなっている。 ・各種制度の相談や申請の助言のため、各地区に相談員を設けているが、交代時の後任の確保が困難。
②困っている状況が発生している「原因」	・被爆者の高齢化や独居化が進んでいる。 ・相談員自身も高齢化が進んでいる。
③原因を解消するための「課題」	・高齢の方、独居の方ほど支援が必要だが、その支援の情報を本人及び周囲の方に的確に伝えなければならない。 ・相談員の新たな担い手を考える（二世の方等）。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・機会を捉えて、本人はもとより医療機関や介護事業者へ助成制度等の周知を図る。 ・相談員の研修に二世の団体を招くなど、新たな担い手を育成する。
---

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）